

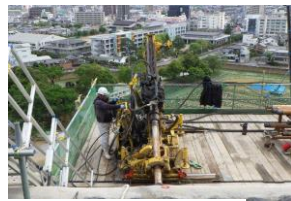
丸亀城管理室だより No. 3

令和 2 年 7 月 3 日

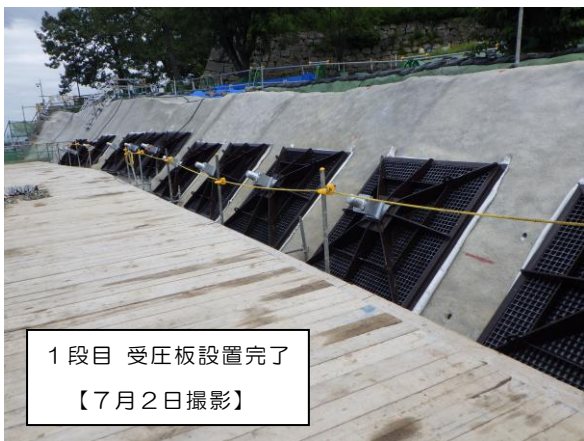
三の丸グラウンドアンカー打設開始

三の丸に出現したクラックの対処策方針が決まり、6月10日から三の丸斜面でグラウンドアンカーの打設が始まりました。

全部で47本のアンカーを打設します。



グラウンドアンカー打設のため削孔中のボーリングマシーン 【6月9日撮影】



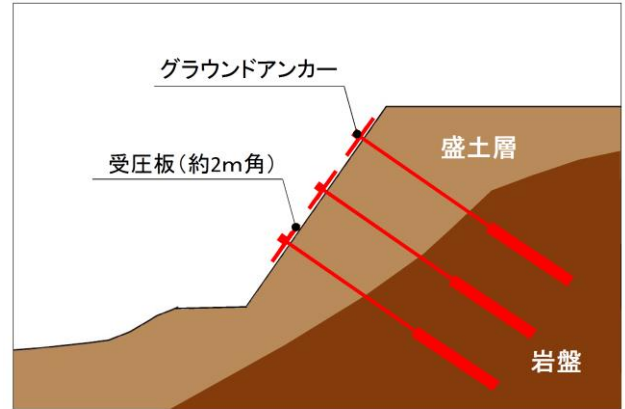
アンカー緊張 確認作業の様子

グラウンドアンカーとは？

グラウンドアンカーは斜面安定、地すべり抑止や構造物の安定等に採用される工法です。

ワイヤー状の鋼材（アンカー）を岩盤に定着させて、斜面に設置した受圧板と接続します。

アンカーが受圧板を引っ張ることで斜面の安定化を図ります。



グラウンドアンカー工法（イメージ図）

石材の最終評価（2次評価）

城内グラウンドの石材は、

- ① 応急対策工事で解体した石材
- ② 三の丸付近で回収した崩落石材
- ③ 三の丸解体工事で解体した石材

の3種類です。

石材解体・回収時に、石材の部位（角石・角脇石・築石）、寸法、重量、各種痕跡（矢穴・ノミ・刻印等）、石材の状態を記入して「石材カルテ」を作成します。【1次評価】

続いて、再利用ができるかどうか、最終評価【2次評価】を行い、それらが終わると各石材置場へ移されます。

一石、一石、文化財職員と石工さんが、石材を見て評価します。
この石には、ひび割れがありました。



打音検査の様子です。
石材を専用のハンマーで叩くと、音や感覚で石の状態がわかります。

三の丸石垣が綾歌の石材置場へ出発



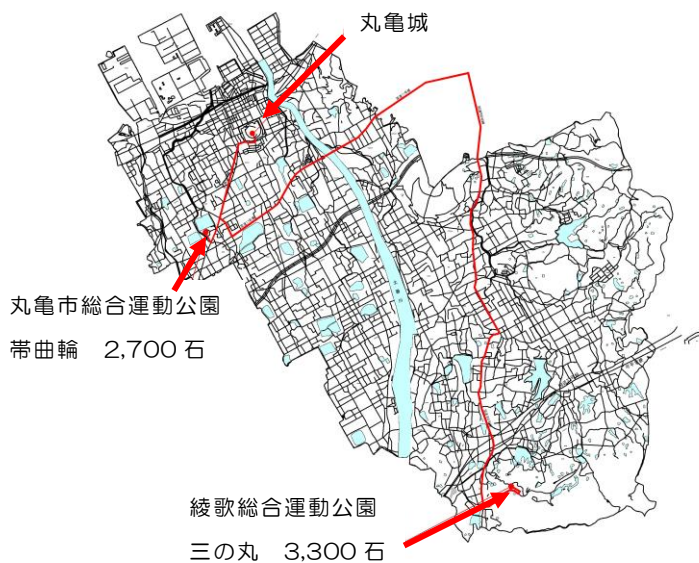
城内グラウンド 石材仮置き状況

【令和2年5月21日 ドローン撮影】

三の丸石垣は、綾歌総合運動公園（綾歌町岡田上）、帯曲輪石垣は、丸亀市総合運動公園（新田町）の石材置場へ移動して、積み直し時まで保管します。

最終評価【2次評価】を終えた石材が、6月22日、城内グラウンドから綾歌総合運動公園の石材置場へ出発しました。

【石材運搬経路】



丸亀城内から各石材置場（綾歌町、新田町）に石材を運搬するルートです。

丸亀城に使用されている石材について、具体的な産地を示す文献資料は確認されておりませんが、石材にとっては築城以来、初めての長旅です。

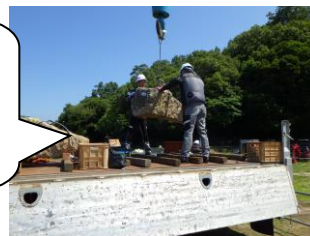
石材の運搬は、大型トラックで1日2往復程度のペースで行います。大型車両の通行により、近隣の皆様にはご迷惑をおかけしますが、石材が戻ってくる日まで、あたたかくお見守りください。

<綾歌総合運動公園石材置場>



石材にワイヤーをかけ、大型トラックに乗せます。

安全に運搬するため、荷台に丁寧に固定します。



トラックにはじゅうじゅうのイラストと「石材運搬中」の横断幕が、付いています。



綾歌の石材置場に到着しました！



令和4年の三の丸積み直し時まで、石材置場で原位置に戻れる日を静かに待ちます。



作成：丸亀市教育部 文化財保存活用課
丸亀城管理室 Tel.0877-23-2107